

2025 Summer



国土交通省 四国地方整備局
小松島港湾・空港整備事務所

Vol. 63

あやめなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

クルーズ船「リビエラ」 初寄港



TOPICS

特集

令和7年度事業概要をご紹介します

赤石地区国際物流ターミナル整備事業 供用に向けて事業本格化

読者のみなさま、こんにちは。

さて、4月に開幕した大阪・関西万博では国内外からの観光客で賑わいを見せ、開幕から約2ヶ月で総入場者数が500万人を突破しました。古くから文化・経済において関西圏と関わりが深い徳島県も阿波藍の伝統やプロジェクションマッピングを用いた阿波踊り体験などを通じて「徳島の魅力」を世界中に発信しています。

インバウンド需要の高まりは県内でも例外ではなく、徳島小松島港へのクルーズ船の寄港回数は過去最多を更新し、徳島阿波おどり空港では、昨年、香港・韓国の国際定期便が就航しました。

一方、今年3月に南海トラフ巨大地震の被害想定が13年ぶりに見直されました。能登半島地震や東日本大震災などから得た教訓やこれまで積み重ねてきた自然災害への備えにより、私たちの防災レベルは向上しているものの、ハード・ソフトの両面でより一層の充実が求められるところでございます。

当事務所では、新規着工から2年目を迎える徳島小松島港赤石地区国際物流ターミナル整備事業を推進するとともに、徳島飛行場滑走路端安全区域(RESA(リーサ))の本格工事に着手します。また、国土強靱化対策に基づく徳島小松島港沖洲(外)地区防波堤(改良)や金磯地区泊地埋没対策にかかる予防保全事業をしっかりと推進して参ります。

みなさまの期待に応えて地域経済を支えるとともに、地域の安全・安心、生命と財産を守る立場で事務所一丸となって事業に取り組んで参りますので、引き続きよろしくお願いいたします。

小松島港湾・空港整備事務所長 高尾 俊輝



minato みなとインフォメーション
Information

小松島港湾・空港整備事務所 令和7年度事業概要

港湾整備事業

赤石地区国際物流ターミナル整備事業

赤石地区は、県内唯一の外貿定期コンテナ航路と国際フィーダー航路が就航しており、背後圏に立地する企業・工場に係る物流拠点となっています。

今後増大が見込まれる新たなコンテナ貨物需要や、モーダルシフト需要に対応し、地域国際競争力の強化や、国際コンテナ戦略港湾である神戸港への更なる集貨を図るため、徳島県と協力し国際物流ターミナルの整備に令和6年度より着手しています。

令和7年度の実施内容

赤石地区においては岸壁(水深13m)②延伸のため、ケーソン2函据付のための地盤改良工、基礎工、本体工、ならびに泊地(水深13m)の浚渫工を実施します。また、岸壁(水深13m)①においては、新たな荷役機械(ガントリークレーン)を設置するための改良工事に着手します。

また、徳島県においてはガントリークレーンの製作に着手します。

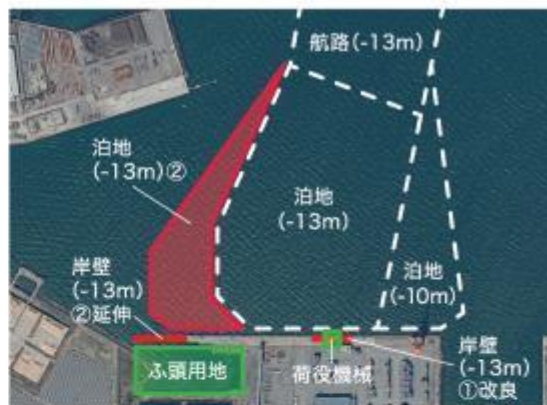


浚渫状況
(令和6年撮影)



据付予定のケーソン2函
(令和7年撮影)

事業概要



徳島小松島港における“国土強靱化対策”の促進

徳島小松島港では、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の一環として、港湾施設の地震・津波対策および老朽化対策を推進しています。

●徳島港区では防波堤の「粘り強い構造」への改良等を実施（沖洲（外）地区・津田地区）

防波堤は、入港した船舶が安定的に貨物を荷役するために、港外側からの波を遮蔽し港内を静穏に保つ重要な役割を担っていますが、沖洲（外）地区防波堤は建設後30年、津田地区防波堤は50年が経過し、防波堤の沈下や老朽化による機能低下が進み、前述の重要な役割を一部果たせない状況であるため対策が必要となっております。

沖洲（外）地区防波堤および津田地区防波堤においては令和6年度までに沈下が見られた消波ブロックの復旧により機能を回復しました。沖洲（外）地区防波堤においては粘り強い化対策として基礎マウンドの拡幅、上部工拡幅の一部が完了しております。

対象施設と令和7年度の実施内容

沖洲（外）地区防波堤においては粘り強い化のための上部工の拡幅（約180m）を行います。津田地区防波堤についても本格的な改良工事に向け、関係者・利用者調整を継続して進めてまいります。

防波堤改良状況（令和7年4月撮影）
沖洲（外）地区防波堤



◆徳島港区



●小松島港区では泊地の埋没対策を継続（金磯地区）

老朽化（昭和30～40年代に整備）により利用が制限されていた岸壁のリニューアル工事は令和5年度までに完了し、年間を通して貨物船やクルーズ船の利用が可能となっております。また、前面泊地の水深を確保し、埋没傾向が著しいエリアについて令和6年度より埋没対策に着手しています。

対象施設と令和7年度の実施内容

令和7年度は、金磯地区泊地（水深11m）において浚渫工事を実施し、埋没対策が完了する予定です。



◆小松島港区



空港整備事業

滑走路端安全区域(RESA)整備 による航空輸送の安全安心の確保

徳島飛行場では滑走路端安全区域(RESA: Runway End Safety Area)の整備に取り組んでいます。令和6年度までに漁業補償や調査・設計が完了し令和7年度より海上工事に着手します。

令和7年度の実施内容

滑走路端安全区域(RESA)の現地工事に着手します。汚濁防止膜を展張し既設護岸のブロックを撤去し、新設護岸の地盤改良工(サンドコンパクション工)を実施します。空港の運用時間を避けた夜間工事となるため、関係者と調整しながら安全施工に努めます。



Powered by SATELLOGIC © 2024

滑走路端安全区域(RESA)整備箇所
滑走路端安全区域(RESA)の整備により、航空機の離着陸時の安全を確保します！



海洋環境整備事業

海上を利用する船舶の安全安心の確保と海洋環境の保全

四国地方整備局では、瀬戸内海に3隻の海洋環境整備船(みずき・美讃・いしづち)を配備しています。

当事務所に配備されている海洋環境整備船「みずき」は、播磨灘南部及び紀伊水道西部を担務海域として、日々海の漂流物を回収しており、また、船舶事故等によって海に油が流出した際には油回収を行い、非常時の活動として担務海域を越えて支援活動を行うこともあります。

昭和57年度から令和6年度の累計ゴミ回収量は18,060m³でダンプトラック4t積で7,224台分で、令和6年度はここ6年でゴミ回収量が最も多く734m³でありダンプトラック4t積で294台分に相当します。

なお、海上交通の要衝である紀伊水道において災害が発生した場合に備え、小松島の「みずき」と和歌山の「海和歌丸」による合同訓練を平成29年度より毎年実施しています。

また、現行の「みずき」が平成10年に就航してから今年で27年目となります。老朽化が進んでいることから、令和8年2月頃の新造船就航に向けて現在建造中です。

新造船の船名も引き続き「みずき」と命名しました。「みずき」には、小松島市のシンボルであるハナミズキとみづをきれいにという意味が込められています。

令和7年度も引き続き日々の漂流物回収を行いつつ、新造船とともに災害支援に積極的に対応することで、海上を利用する船舶に安全安心を提供するよう取り組んでいきます。



播磨灘南部での漂流物回収状況
(平成30年度西日本豪雨時)



「みずき」と「海和歌丸」による
合同訓練状況

お知らせ

みなと通信



徳島小松島港に「リビエラ」が初寄港

4月21日、徳島小松島港金磯岸壁にクルーズ船リビエラが初めて寄港しました。

リビエラは2012年に就航した全長238メートル、全幅32.2メートル、総トン数66,172トンのクルーズ船です。

今回の寄港では1,217名の乗客の方々が、鳴門の渦潮や眉山ロープウェイ、阿波踊り会館などを訪れ、徳島県を堪能されました。

豪華な船内と、金磯岸壁に停泊する姿は圧巻でした。



徳島小松島港におけるクルーズ船寄港予定



徳島小松島港では、毎年クルーズ船が寄港しており、今年の6月以降も右の日程で入港する予定です。

今年度の寄港回数は24回で過去最高を予定しております。

また、クルーズ船寄港時には見学ブース（※前日までに事前申込が必要：定員あり）もあります。

間近で大きなクルーズ船を見ることができますので是非お越しください！

問合せ先

徳島県港湾政策課
088-621-2585



寄港日	船名	寄港岸壁
6月7日	バイキング・エデン	金磯(水深11m)
8月12日	飛鳥II	金磯(水深11m)
8月13日	ダイヤモンド・プリンセス	赤石(水深13m)
8月14日	ミツイ・オーシャン・フジ	赤石(水深13m)
8月15日	にっぽん丸	沖洲(外)(水深7.5m)
8月18日	にっぽん丸	本港 (水深9m)
8月28日	ノルウェー جان・スピリット	赤石(水深13m)
9月16日	ノルウェー ジョグラフィ	赤石(水深13m)
10月7日	コーラル・ジオグラファー	沖洲(外)(水深7.5m)
10月25日	シーポーン・クエスト	金磯(水深11m)
10月29日	コーラル・ジオグラファー	沖洲(外)(水深7.5m)
10月30日	ウェステルダム	赤石(水深13m)
11月5日	コーラル・ジオグラファー	沖洲(外)(水深7.5m)
12月15日	飛鳥III	赤石(水深13m)
12月24日	にっぽん丸	沖洲(外)(水深7.5m)
2月18日	ウェステルダム	赤石(水深13m)
3月14日	シーポーン・アンコール	金磯(水深11m)
3月25日	ミツイ・オーシャン・フジ	赤石(水深13m)
3月26日	ダイヤモンド・プリンセス	赤石(水深13m)

リフレッシュ瀬戸内 横須・金磯海岸の海浜清掃

6月14日(土)に横須・金磯海岸で『リフレッシュ瀬戸内』が開催されます。リフレッシュ瀬戸内は、瀬戸内海沿岸部の自治体等で構成される“瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会”の取り組みの一つで、毎年夏場に各地で海岸付近のゴミの回収活動が実施されています。また、水質浄化のためのあさり放流も行われております。昨年は天候にも恵まれ、総勢1,000人あまりの子供からお年寄りまで幅広い年代の方々にご参加いただきました。下の写真は昨年の様子です。今年も多くのゴミを拾い、小松島の海岸をきれいにしましょう！



清掃活動の様子



ゴミの収集状況の様子



あさりの放流の様子

小松島港まつり協賛行事 みずきの一般公開とみなと見学会を行います！

7月21日に小松島港まつりが開催されます！その協賛行事として、毎年大好評の海面清掃兼油回収船“みずき”の一般公開と港湾業務艇“ひのみね”の『みなと見学会』を開催します。

『みなと見学会』では“ひのみね”に乗船して徳島小松島港の周辺を一周し、港の役割、重要性について説明しながら、身近に海の雰囲気を感じていただけます。また、様々な疑問に当事務所の職員がご答えします。

先着定員制ではありますが、どなたでもご参加いただけます。ぜひ普段見ることのできない海からの小松島の港をご覧ください！



“みずき”一般公開の様子



『みなと見学会』の様子



港湾業務艇“ひのみね”

小松島港湾・空港整備事務所公式X開設！

この度、小松島港湾・空港整備事務所公式Xを開設いたしました！
事務所のマスコットキャラクター「こまぼん」とも情報発信して参ります。



是非フォロー
してください！



出前講座の申し込み受付中！

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座（みなと学習、環境学習、防災学習）を開講しています。楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。

当事務所
TEL

出前講座、現場見学のお問い合わせは…

(0885)-32-3855

または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。



事務所ホームページQRコード

発行／国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 建設管理官室担当
〒773-0001 小松島市小松島町字外開1-11 小松島みなと合同庁舎2階 TEL: (0885)-32-3855

URL <http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
E-mail pa.skr-kmj-m-i88s3@mlit.go.jp



地球に優しい大豆インキを使用しています。



徳島小松島港に「リビエラ」が初寄港

4月21日、徳島小松島港金磯岸壁にクルーズ船リビエラが初めて寄港しました。
リビエラは2012年に就航した全長238メートル、全幅32.2メートル、総トン数66,172トンのクルーズ船です。
今回の寄港では1,217名の乗客の方々が、鳴門の渦潮や眉山ロープウェイ、阿波踊り会館などを訪れ、徳島県を堪能されました。
豪華な船内と、金磯岸壁に停泊する姿は圧巻でした。



徳島小松島港におけるクルーズ船寄港予定



徳島小松島港では、毎年クルーズ船が寄港しており、今年の6月以降も右の日程で入港する予定です。

今年度の寄港回数は24回で過去最高を予定しております。

また、クルーズ船寄港時には見学ブース(※前日までに事前申込が必要：定員あり)もあります。

間近で大きなクルーズ船を見ることが出来ますので是非お越しください!

問合せ先 徳島県港湾政策課
088-621-2585



寄港日	船名	寄港岸壁
6月7日	バイキング・エデン	金磯(水深11m)
8月12日	飛鳥II	金磯(水深11m)
8月13日	ダイヤモンド・プリンセス	赤石(水深13m)
8月14日	ミツイ・オーシャン・フジ	赤石(水深13m)
8月15日	にっぽん丸	沖洲(外)(水深7.5m)
8月18日	にっぽん丸	本港 (水深9m)
8月28日	ノルウェー جان・スピリット	赤石(水深13m)
9月16日	ノルウェー ジョグラフィ	赤石(水深13m)
10月7日	コーラル・ジオグラファ	沖洲(外)(水深7.5m)
10月25日	シーボーン・クエスト	金磯(水深11m)
10月29日	コーラル・ジオグラファ	沖洲(外)(水深7.5m)
10月30日	ウェステルダム	赤石(水深13m)
11月5日	コーラル・ジオグラファ	沖洲(外)(水深7.5m)
12月15日	飛鳥III	赤石(水深13m)
12月24日	にっぽん丸	沖洲(外)(水深7.5m)
2月18日	ウェステルダム	赤石(水深13m)
3月14日	シーボーン・アンコール	金磯(水深11m)
3月25日	ミツイ・オーシャン・フジ	赤石(水深13m)
3月26日	ダイヤモンド・プリンセス	赤石(水深13m)

出典: 徳島県HP

リフレッシュ瀬戸内 横須・金磯海岸の海浜清掃

6月14日(土)に横須・金磯海岸で『リフレッシュ瀬戸内』が開催されます。リフレッシュ瀬戸内は、瀬戸内海沿岸部の自治体等で構成される「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の取り組みの一つで、毎年夏場に各地で海岸付近のゴミの回収活動が実施されています。また、水質浄化のためのあさり放流も行われております。昨年は天候にも恵まれ、総勢1,000人あまりの子供からお年寄りまで幅広い年代の方々にご参加いただきました。下の写真は昨年の様子です。今年も多くのゴミを拾い、小松島の海岸をきれいにしましょう!



清掃活動の様子



ゴミの収集状況の様子



あさりの放流の様子

小松島港まつり協賛行事 みずきの一般公開とみなと見学会を行います!

7月21日に小松島港まつりが開催されます!その協賛行事として、毎年大好評の海面清掃兼油回収船「みずき」の一般公開と港湾業務艇「ひのみね」の『みなと見学会』を開催します。

『みなと見学会』では「ひのみね」に乗船して徳島小松島港の周辺を一周し、港の役割、重要性について説明しながら、身近に海の雰囲気を感じていただけます。また、様々な疑問に当事務所の職員がお答えします。

先着定員制ではありますが、どなたでもご参加いただけます。ぜひ普段見ることのできない海からの小松島の港をご覧ください!



「みずき」一般公開の様子



『みなと見学会』の様子



港湾業務艇「ひのみね」

小松島港湾・空港整備事務所公式X開設!

この度、小松島港湾・空港整備事務所公式Xを開設いたしました!
事務所のマスコットキャラクター「こまぼん」とも情報発信して参ります。



出前講座の申し込み受付中!

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。

発行/国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 建設管理官室担当
〒773-0001 小松島市小松島町字外開1-11 小松島みなと合同庁舎2階 TEL: (0885)-32-3855

出前講座、現場見学のお問い合わせは...

TEL (0885)-32-3855
または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。

URL <http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
E-mail pa.skr-kmj-m-i88s3@mlit.go.jp



事務所のホームページQRコード

PRINTED WITH SOY INK
地球に優しい大豆インクを使用しています。

この冊子は再生紙を使用しています。

2025 Summer

vol.63

国土交通省 四国地方整備局
小松島港湾・空港整備事務所

あやめなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

クルーズ船「リビエラ」 初寄港



TOPICS

特集

令和7年度事業概要をご紹介します

赤石地区国際物流ターミナル整備事業 供用に向けて事業本格化

読者のみなさま、こんにちは。
さて、4月に開幕した大阪・関西万博では国内外からの観光客で賑わいを見せ、開幕から約2ヶ月で総入場者数が500万人を突破しました。古くから文化・経済において関西圏と関わりが深い徳島県も阿波藍の伝統やプロジェクションマッピングを用いた阿波踊り体験などを通じて「徳島の魅力」を世界中に発信しています。

インバウンド需要の高まりは県内でも例外ではなく、徳島小松島港へのクルーズ船の寄港回数は過去最多を更新し、徳島阿波おどり空港では、昨年、香港・韓国国際定期便が就航しました。

一方、今年3月に南海トラフ巨大地震の被害想定が13年ぶりに見直されました。能登半島地震や東日本大震災などから得た教訓やこれまで積み重ねてきた自然災害への備えにより、私たちの防災レベルは向上しているものの、ハード・ソフトの両面でより一層の充実が求められるところでございます。

当事務所では、新規着工から2年目を迎える徳島小松島港赤石地区国際物流ターミナル整備事業を推進するとともに、徳島飛行場滑走路端安全区域(RESA(リーサ))の本格工事に着手します。また、国土強靱化対策に基づく徳島小松島港沖洲(外)地区防波堤(改良)や金磯地区泊地埋没対策にかかる予防保全事業をしっかりと推進して参ります。

みなさまの期待に応えて地域経済を支えるとともに、地域の安全・安心、生命と財産を守る立場で事務所一丸となって事業に取り組んで参りますので、引き続きよろしく願いいたします。

小松島港湾・空港整備事務所長 高尾 俊輝



小松島港湾・空港整備事務所 令和7年度事業概要

港湾整備事業

赤石地区国際物流ターミナル整備事業

赤石地区は、県内唯一の外貨定期コンテナ航路と国際フィーダー航路が就航しており、背後圏に立地する企業・工場に係る物流拠点となっています。

今後増大が見込まれる新たなコンテナ貨物需要や、モーダルシフト需要に対応し、地域国際競争力の強化や、国際コンテナ戦略港湾である神戸港への更なる集貨を図るため、徳島県と協力し国際物流ターミナルの整備に令和6年度より着手しています。

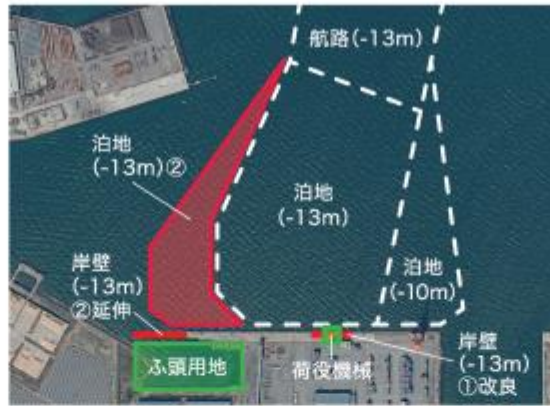
令和7年度の実施内容

赤石地区においては岸壁(水深13m)②延伸のため、ケーソン2函据付のための地盤改良工、基礎工、本体工、ならびに泊地(水深13m)の浚渫工を実施します。また、岸壁(水深13m)①においては、新たな荷役機械(ガントリークレーン)を設置するための改良工事に着手します。

また、徳島県においてはガントリークレーンの製作に着手します。



事業概要



徳島小松島港における“国土強靱化対策”の促進

徳島小松島港では、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の一環として、港湾施設の地震・津波対策および老朽化対策を推進しています。

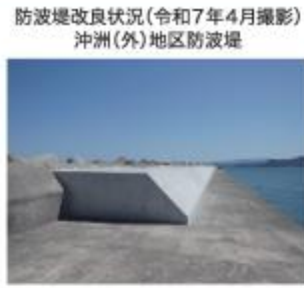
●徳島港区では防波堤の「粘り強い構造」への改良等を実施(沖洲(外)地区・津田地区)

防波堤は、入港した船舶が安定的に貨物を荷役するために、港外側からの波を遮蔽し港内を静穏に保つ重要な役割を担っておりますが、沖洲(外)地区防波堤は建設後30年、津田地区防波堤は50年が経過し、防波堤の沈下や老朽化による機能低下が進み、前述の重要な役割を一部果たせない状況であるため対策が必要となっております。

沖洲(外)地区防波堤および津田地区防波堤においては令和6年度までに沈下が見られた消波ブロックの復旧により機能を回復しました。沖洲(外)地区防波堤においては粘り強い化対策として基礎マウンドの拡幅、上部工拡幅の一部が完了しております。

対象施設と令和7年度の実施内容

沖洲(外)地区防波堤においては粘り強い化のための上部工の拡幅(約180m)を行います。津田地区防波堤についても本格的な改良工事に向け、関係者・利用者を調整を継続して進めてまいります。



◆徳島港区



◆小松島港区



●小松島港区では泊地の埋没対策を継続(金磯地区)

老朽化(昭和30～40年代に整備)により利用が制限されていた岸壁のリニューアル工事は令和5年度までに完了し、年間を通して貨物船やクルーズ船の利用が可能となっております。また、前面泊地の水深を確保し、埋没傾向が著しいエリアについて令和6年度より埋没対策に着手しています。

対象施設と令和7年度の実施内容

令和7年度は、金磯地区泊地(水深11m)において浚渫工を実施し、埋没対策が完了する予定です。



空港整備事業

滑走路端安全区域(RESA)整備による航空輸送の安全安心の確保

徳島飛行場では滑走路端安全区域(RESA: Runway End Safety Area)の整備に取り組んでいます。令和6年度までに漁業補償や調査・設計が完了し令和7年度より海上工事に着手します。

令和7年度の実施内容

滑走路端安全区域(RESA)の現地工事に着手します。汚濁防止膜を展開し既設護岸のブロックを撤去し、新設護岸の地盤改良工(サンドコンパクション工)を実施します。空港の運用時間を避けた夜間工事となるため、関係者と調整しながら安全施工に努めます。



Powered by SATELLOGIC © 2024

滑走路端安全区域(RESA)整備箇所
滑走路端安全区域(RESA)の整備により、航空機の離着陸時の安全を確保します！



海洋環境整備事業

海上を利用する船舶の安全安心の確保と海洋環境の保全

四国地方整備局では、瀬戸内海に3隻の海洋環境整備船(みずき・美讃・いしづち)を配備しています。

当事務所に配備されている海洋環境整備船「みずき」は、播磨灘南部及び紀伊水道西部を担務海域として、日々海の漂流物を回収しており、また、船舶事故等によって海に油が流出した際には油回収を行い、非常時の活動として担務海域を越えて支援活動を行うこともあります。

昭和57年度から令和6年度の累計ゴミ回収量は18,060m3でダンプトラック4t積で7,224台分で、令和6年度はここ6年でゴミ回収量が最も多く734m3でありダンプトラック4t積で294台分に相当します。

なお、海上交通の要衝である紀伊水道において災害が発生した場合に備え、小松島の「みずき」と和歌山の「海和歌丸」による合同訓練を平成29年度より毎年実施しています。

また、現行の「みずき」が平成10年に就航してから今年で27年目となります。老朽化が進んでいることから、令和8年2月頃の新造船就航に向けて現在建造中です。

新造船の船名も引き続き「みずき」と命名しました。「みずき」には、小松島市のシンボルであるハナミズキとみづをきれいにという意味が込められています。

令和7年度も引き続き日々の漂流物回収を行いつつ、新造船とともに災害支援に積極的に対応することで、海上を利用する船舶に安全安心を提供するよう取り組んでいきます。

